



レジオネラ肺炎患者のレントゲン写真

主に年配の男性を襲う肺炎 レジオネラ症にご注意！

感染症発生動向速報

(令和元年第20週分・5月13日～5月19日)

令和元年5月22日

富山県感染症情報センター

(0766-56-5431 直通)

(0766-56-8142 細菌部)

(0766-56-8143 ウイルス部)

《インフォメーション》

●レジオネラ症

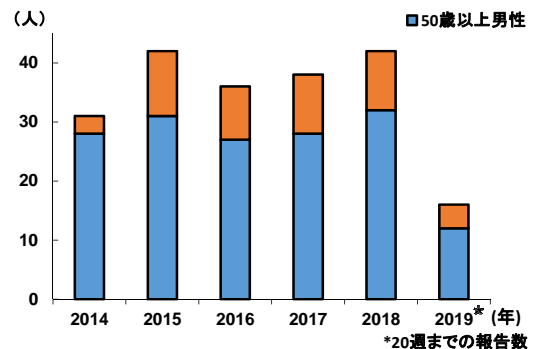
レジオネラ症の県内の年間報告数は、近年30～45人程度で推移していますが、今年には既に16人報告されています(右図、5月19日現在)。

レジオネラ症は、レジオネラ属菌による感染症です。もともと土壌や水環境に普通に存在する菌ですが、自然環境中での菌数は少ないとされています。しかしながら、水温が20～45℃で停滞する人工的な環境水(ビルの空調システムの冷却塔水や循環式浴用施設の浴用水など)は、衛生管理が不十分な場合、レジオネラ属菌の増殖の温床となります。人は、菌を含んだ水しぶきや土ぼこりを吸い込むことで感染します。

レジオネラ症の主な病型として、重症の肺炎を引き起こすレジオネラ肺炎と一過性の症状を呈するポンティアック熱が知られています。レジオネラ肺炎は全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛などの症状に始まり、咳や38℃以上の高熱、悪寒、腹痛、呼吸困難が見られるようになります。中枢神経系の症状や下痢が見られるのもレジオネラ肺炎の特徴とされています。有効な抗菌薬治療がなされないと死に至る場合もあります。一方、ポンティアック熱は、突然の発熱、悪寒、筋肉痛などの症状が見られます。

患者の年齢・性別には偏りがあり、県内では50歳以上の男性が患者全体の7割以上を占めています。レジオネラ症は、早期に診断して適切な治療を開始することが重要です。医療機関においては、尿中抗原キットを用いた迅速診断を行い、早期に抗菌薬治療(キノロン系薬、マクロライド系薬)を行うことが求められます。

レジオネラ症の報告数(富山県)



《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 4件 (①70歳代、男性 ②80歳代、男性 ③90歳代、女性 ④100歳代、女性)

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2件 (①②ともに20歳代、男性、O26, VT1)

五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 3件 (①第19週診断分：60歳代、男性 ②10歳未満、女性 ③80歳代、女性)

水痘(入院例) 1件(10歳未満、女性)

百日咳 2件(①10歳未満、女性 ②10歳代、女性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	9.48(↑)	6.45
2位	伝染性紅斑	3.31(↑)	1.83
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.76(↑)	1.76
4位	咽頭結膜熱	0.66(↓)	0.79
	水痘	0.66(↑)	0.55
6位	突発性発しん	0.48(→)	0.48

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます

アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和元年第20週 令和元年5月13日～令和元年5月19日）

分類	疾患	今週報告分（第20週）						累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核	1		2		1	4	6	3	14	15	21	59	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			2			2		1	3		4	8	
四類感染症	E型肝炎							2					2	
	A型肝炎							1					1	
	レジオネラ症									5	3	8	16	
五類感染症	アメーバ赤痢											1	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									1	1		2	
	急性脳炎											2	2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2	1	1	4	
	後天性免疫不全症候群											3	3	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	2		3	
	侵襲性肺炎球菌感染症					2	2			6	7	8	21	
	水痘（入院例）					1	1					3	3	
	梅毒									2	1	9	12	
	播種性クリプトコックス症											1	1	
	百日咳				1	1	2		4			1	13	18
	風しん								1			2	3	
	麻しん										1	2	3	
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	2	1	3	7	5	18	1,424	910	3,112	1,687	3,604	10,737
		0.29	0.20	0.23	1.00	0.31	0.38							
RSウイルス感染症		1				3	4	11	19	47	5	64	146	
		0.25				0.30	0.14							
咽頭結膜熱		5		11		3	19	91	14	166	22	96	389	
		1.25		1.38		0.30	0.66							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	10	19	8	40	80	74	83	370	162	670	1,359	
		0.75	3.33	2.38	2.00	4.00	2.76							
感染性胃腸炎		33	40	45	43	114	275	623	450	740	330	1,826	3,969	
		8.25	13.33	5.63	10.75	11.40	9.48							
水痘			1	4		14	19	15	11	28	11	148	213	
			0.33	0.50		1.40	0.66							
手足口病				1			1	15	10	11	3	77	116	
				0.13			0.03							
伝染性紅斑		10	2	34	2	48	96	52	15	282	71	171	591	
		2.50	0.67	4.25	0.50	4.80	3.31							
突発性発しん				8	1	5	14	16	22	75	19	72	204	
				1.00	0.25	0.50	0.48							
ヘルパンギーナ		3	2		1		6	54	2	3	2		61	
		0.75	0.67		0.25		0.21							
流行性耳下腺炎					1	1	1	3	5	1	15	25		
					0.10	0.03								
急性出血性結膜炎				1		1					10	10		
				1.00		0.14								
流行性角結膜炎			1	2		3	1	4	22	18	3	48		
			0.50	2.00		0.43								
細菌性髄膜炎											3	3		
無菌性髄膜炎							1					1		
マイコプラズマ肺炎								2	1			3		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）			1			1	1		8	6		15		
			1.00			0.20								
インフルエンザによる入院患者（*）					1	1	41	42	52	96	97	328		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週(9月3日)～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

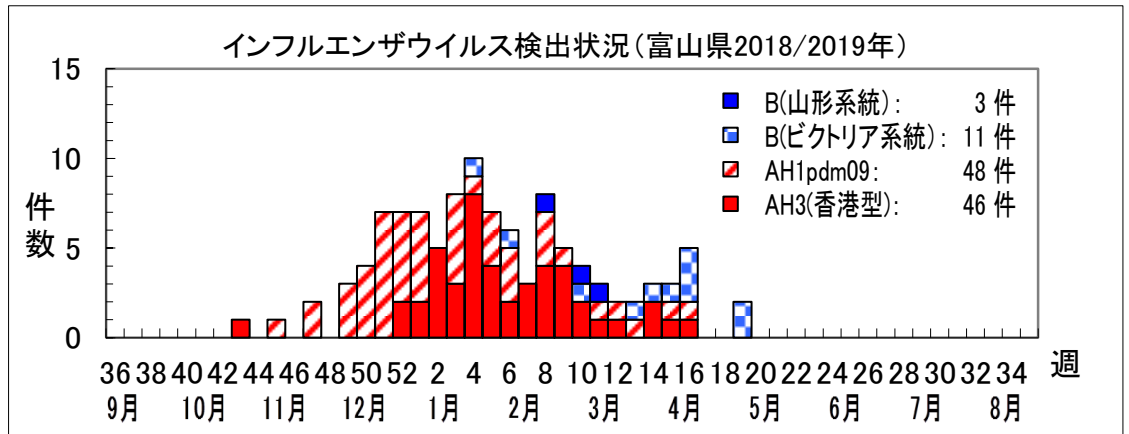
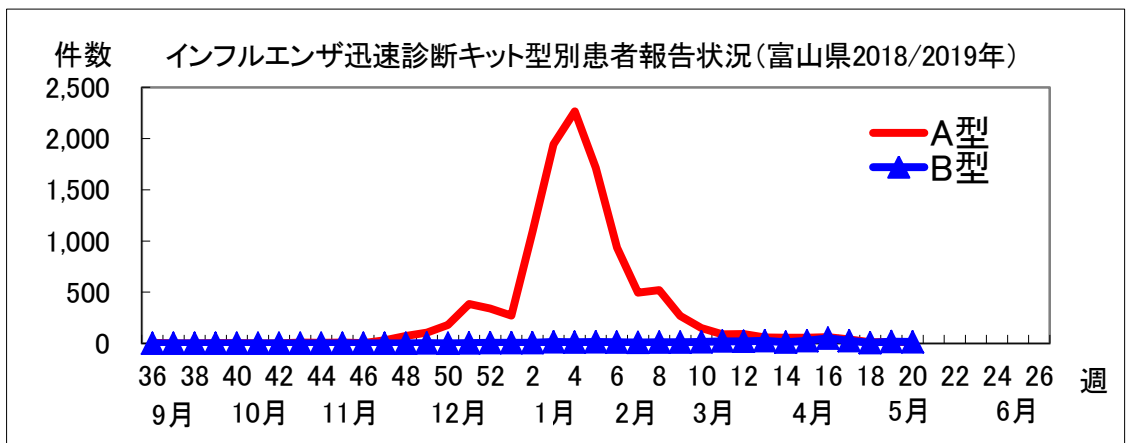
現在、下の表によると、A型が22.2%、B型が77.8%となっています。

第20週(5/13～5/19)：富山県 0.38人/定点

(単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	2 / 7	0	2	0	2
中部	1 / 5	0	1	0	1
高岡	3 / 13	0	3	0	3
砺波	3 / 7	4	3	0	7
富山市	4 / 16	0	5	0	5
富山県	13 / 48 ^{※1}	4	14	0	18
富山県累計(2018年36週～)		11,290	330	306	11,926

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が13か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



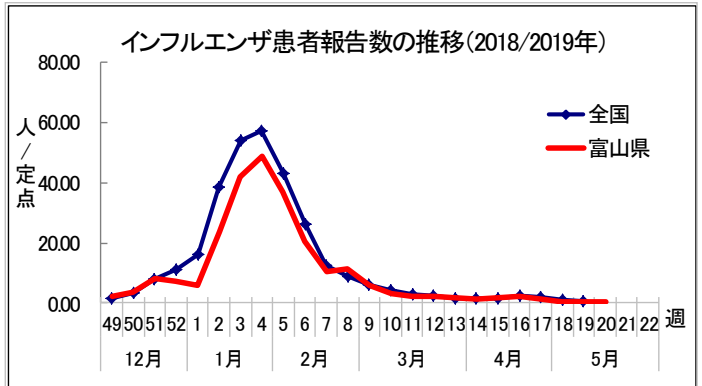


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 20 週 (5/13~5/19) : 富山県 0.38 人/定点

新川 HC (0.29)、中部 HC (0.20)、高岡 HC (0.23)、砺波 HC (1.00)、富山市 HC (0.31)

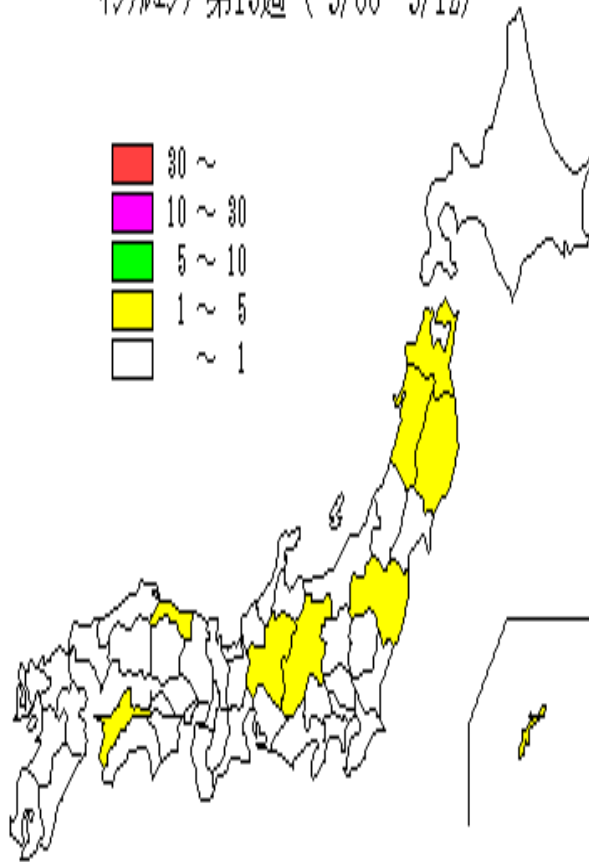
県内のインフルエンザの流行は縮小傾向にあり、終息したと思われま



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 19 週 (5/6~5/12)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 0.74 人となり、前週の 1.03 人より減少しました。13 都県で前週より増加しています。34 道府県で前週より減少しています。

インフルエンザ第19週 (5/06- 5/12)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	0.65	滋賀県	0.58
青森県	1.09	京都府	0.90
岩手県	1.89	大阪府	0.64
宮城県	0.95	兵庫県	0.79
秋田県	1.80	奈良県	0.40
山形県	0.63	和歌山県	0.20
福島県	1.72	鳥取県	1.31
茨城県	0.61	島根県	0.34
栃木県	0.41	岡山県	0.63
群馬県	0.49	広島県	0.39
埼玉県	0.69	山口県	0.40
千葉県	0.52	徳島県	0.49
東京都	0.82	香川県	0.38
神奈川県	0.55	愛媛県	1.23
新潟県	0.68	高知県	0.48
富山県	0.63	福岡県	0.29
石川県	0.77	佐賀県	0.77
福井県	0.73	長崎県	0.33
山梨県	0.23	熊本県	0.30
長野県	1.20	大分県	0.59
岐阜県	1.05	宮崎県	0.26
静岡県	0.45	鹿児島県	0.42
愛知県	0.99	沖縄県	4.60
三重県	0.56	全国	0.74

今週をもちまして、今シーズンのインフルエンザ情報の報告を終了致します。